

新

年おめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、希望も新たに清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町行政の推進に對しまして、温かいご支援とご協力をいただき、おかげさまで各施策についても円滑な進捗が図られておりますこと、心から厚くお礼申し上げます。さて、近年はインターネットを通じたサービスの提供や人工知能などに代表される第4次産業革命が世界的に進展しており、生産や消費といった経済活動だけでなく、ライフスタイルも含めた社会の在り方が変化し、新しいステージに向けた大きな変革の時期を迎えつつあるように思います。

本町においても、このような多様で革新的なサービスの向上によって生活が便利になる一方、少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの衰退などのほか、それらに伴ってもたらされる新しい様々な課題が山積しております。

このような中、町民の皆さまの様々なニーズにこたえつつ、未来に向けた町の持続的発展を期していくためには、我々行政に携わる者が自ら高い意識を持ち、斬新かつ実効性のある政策を立案していくことが重要であると考へ、昨年から町政運営の最上位計画である「茨城町第6次総合計画」の策定に着手をしたところであります。

また、昨年6月には、本町で栽培される「飯沼栗」が、栗では国内初となる地理的表示

謹

んで新春のご祝詞を申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、ご健勝で希望に満ちた新春を晴れやかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、旧年中は町議会に對しまして、格別のご理解ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

私は、先の12月定例会において、議員各位のご賛同を得て、議長の栄職に就くことになりました。誠に身に余る光栄であり、衷心より感謝申し上げますとともに、その職責の重大さを改めて痛感いたしております。町民の皆さまの負託に応えるべく、誠心誠意努力を尽くす所存でございます。

さて、昨今の地方を取り巻く状況は、少子高齢化・人口減少社会の到来などにより、大変厳しいものとなっております。持続的で活力ある社会を構築していくための大きな転換が求められております。

こうした中、町は、地方創生の実現に向け、人口減少に歯止めをかけるための特性を最大限に生かした総合的・効果的な対策を早急に実施する必要があります。併せて、災害に強いまちづくり、医療・福祉が充実した、町民が安心して暮らせるまちづくりにも、全力で取り組んでいかなければなりません。

本年は、先の12月定例会において、基本構想を議会で可決した「茨城町第6次総合計画」の策定が最終段階となります。総合計画は町政運営の礎となる計画であり、町の将来像として掲げる「三世代が共に輝く元氣交流空間



茨城町長 小林 宣夫

(GI)保護制度に登録されました。これを契機に、水と緑に恵まれた豊かな自然環境を活かし、本町の基幹産業である農業がより活性化していくことを期待するものであります。

本町には、まだまだ活かし切れていない多くの資源や社会資本が残されています。町民の皆さまと行政が知恵と力を出し合い、協働して町の発展を進めていくことができれば、茨城町の新しい展望が必ず開けるものと確信をしております。

本年も関係機関や各種団体と緊密に連携し、町民の皆さまのご協力を賜りながら、魅力あふれる郷土づくりに一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆さまにとりまして幸多い一年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

夢と希望を未来へつなぐまち」の実現に向け、議会としても、二元代表制の一翼を担う役割と責任を十分に果たしていく所存であります。

今後、私たち議会議員は、町民の皆さまのご意見を率直かつ謙虚に受け止め、議会の果たすべき役割と責任を強く自覚し、国・県の動向を注視しながら、自治体の決定者、監視者としての機能を高めてまいります。

さらに、町民の皆さまからの厚い信頼と期待に応えられるよう、町民福祉の向上に向けた政策立案機能のさらなる充実に努めるなど、町の発展のため、議会一丸となって取り組む所存であります。

結びに、今後とも町議会に對しまして、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議会を代表しての新年の挨拶いたします。



茨城町議会議長 福田 茂

新年賀謹